



四季報

平成30年
第13号

広報編集室 TEL : 029-879-7351 FAX : 029-879-7352 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟 A408)

みんラボカフェのご紹介



みんラボカフェは毎月1回、主に筑波大学内の会場で行われている、講演会です。テーマは新しい機器(スマホや家電など)や話題になっている機器(自動翻訳やスマートスピーカー)など様々です(2017年度のカフェ内容は2面を参照)。本日は、その中でも筆者にとって興味深いと感じられた、「ドライブレコーダーで守る運転安全」(講演者:練馬タクシー(株)坂口哲夫さん)のカフェについて簡単に紹介いたします。

このカフェでは、タクシー運転手の運転安全を守るために開発されたドライブレコーダー(以下ドラレコ)を、高齢者の運転安全を守るためにどう利用できるか?というテーマを扱っています。まずは、ドラレコとは何か、見ていきましょう。

◆**ドラレコとは?**
ドラレコとは車についたビデオカメラのことで、5つのことができます。すなわち、①運転者がみた景色をビデオ録画できる、②車内の音(声)を録音できる、③車の速

度や、走った位置(GPS)を記録できる、④衝撃が加わった時の衝撃度合いを記録できる、⑤ビデオだけでなく、写真も利用できる、という5つの機能です。それでは、このドラレコ、どのような経緯で開発されたのでしょうか?

◆**ドラレコの誕生秘話と活用への取り組み**

ドラレコは、練馬タクシー社長・故桜井武司氏が歩行者、運転者を問わず被害者側の泣き寝入りを防ぎ、証拠を残して世の中の不幸な事故や犯罪を無くす、という理念のもとに開発したものだそうです。平成12年開発に成功、13年から販売を開始しましたが、社長は商売でなく事故を減らしたい、全国に広めたいとの想いから特許は取得しなかったそうです。

はじめは、普段の乗務映像を確認したり、事故が起きた際の状況や事故原因(スピード・わき見・居眠り等)を把握したりすることに使われていたそうですが、後にそのデータを利用し、社内での「教育」が行われるようになったそうです。

例えば、新人や事故者の教育に使う(本人が運転した映像を見せたり、他人の事故映像を見せて注意喚起したりするなど)、個人教育を行ったり、事故の情報を共有する講演を行う集合教育を行ったりしているそうです。では、このドラレコ、高齢者の運転の安全のために、どう役立つのでしょうか?

◆高齢運転者の運転安全

平成28年中に都内で発生した交通事故のうち、高齢運転者(65歳以上)が関与した事故は22・3%を占めるそうです。個人差はありますが、高齢運転者は①動体視力が衰えたり、②注意力や集中力が変化したり、③瞬間的な判断力が変化したり、④過去の経験を重視する傾向にあるという指摘もあり、十分に安全な運転ができていない場合があるそうです。

これら、高齢者の運転の安全を維持し、運転を見守るために、ドライブレコーダーは利用できるのではないかといいわけですが、例えば、自分がどのような運転をしているか、家族や友人と一緒に見て、自分の運転について相談する等が考えられます。

以上のような講演の後、会場のみんラボ会員と講演者間で盛んな意見交換が行われ、会は終了しました。この記事を読んでみんラボに興味を持たれた方は、ぜひ事務局へご連絡ください。(本田)

総会記事編集にあたって

例年、年度始まりの四季報は「みんラボ総会報告記事」を1面に掲載していました。ただ、初めて四季報を手取る人にとっては情報が多く「よくわからない…」と感じられてしまうのではないかと思います。そこで今年は、総会の詳細を2面にして、1面はよりみんラボに興味を持ってもらいたい、みんラボカフェの記事にしました。

幸せの黄色いレシート 贈呈式



平成30年4月11日、イオンモールつくば1階セントコートにて、幸せの黄色いレシートの活動団体に対し贈呈式が行われました。みんラボからは、篠原、田内、鶴川、松村の4名が参加しました。昨年の4月から今年3月までの1年間の実績により、イオン様より助成金額分のイオンギフトカードが贈呈され、みんラボは25,400円でした。各団体代表より活動報告があり、みんラボは篠原が報告しました。その後、宣伝活動をさせて頂き、レシートがボックスにいっぱい、いっぱい集まりました。

これも日ごろの皆様のご支援の賜物と感謝しております。この助成金はみんラボ活動に有効活用させていただきます。今後とも何とぞご協力をお願いいたします。(篠原、田内、鶴川、松村)



みんなラボ総会報告



第6回みんなラボ総会が下記の通り開催されました。今年も昨年に引き続き、春うららかな、陽気の良い時期の開催でした。総会前に行なわれた、2017年度の研究成果発表会(ポスター発表)では、会員が研究員・学生から説明を受け、盛んに議論を行いました。また総会では、皆が活動・研究報告に熱心に耳を傾け、2018年度の活動及びみんなラボの将来について、活発な意見交換が行われました。総会は今年も、盛会裡に終了いたしました。

開催日：平成30年3月13日(金)

研究成果発表会 13時～14時

みんなラボ総会 14時30分～16時

場所：つくば研究交流センター 第二会議室

参加人数：28名

進行：みんなラボ代表 原田悦子先生
以下総会の概要を報告します。

I 2017年度のみんなラボ活動状況

1. みんなラボ登録会員(2018年3月現在)

- (1) みんなラボ会員数 219名
- (2) 会員平均年齢 72・82歳(範囲：52

2. みんなラボカフェ開催状況

- (3) 会員在住地域 つくば市を中心に茨城県・県南地域
- (4) 第47回 4月 腕時計が翻訳機になる?! ～機械翻訳の今～ 筑波大学 谷晃尚先生
- (5) 第48回 5月 聞こえの変化を知る ～報知音をどうデザインするか～ みんなラボ研究員 水浪田鶴氏
- (6) 第49回 6月 ドライブレコーダーで守る運転安全 練馬タクシー(株) 坂口哲夫氏
- (7) 第50回 8月 三菱電機におけるユニバーサルデザイン 三菱電機(株) 大井美喜江氏・石川美穂氏
- (8) 第51回 9月 高齢者の万引きとその防止 香川大学 大久保智生先生
- (9) 第52回 10月 シルバー×ロボットII 新型シルバーカー? (株) 幸和製作所 藤田瑛仁氏
- (10) 第53回 11月 携帯電話はいつか使いやすいくなるのかな? ～ぬいぐるみ型コミュニケーションツール・コミクマの開発 (株) KDDI総合研究所 新井田統氏
- (11) 第54回 12月 キャップ式牛乳容器

3. みんなラボコミュニティ活動

- (1) 広報誌編集委員会
- (2) 四季報第10号の発行(6月1日)
- (3) 四季報第11号の発行(12月1日)
- (4) 四季報第12号の発行(4月1日)
- (5) みんなラボ 食の会
- (6) 「幸せの黄色いレシート」活動
- (7) 4. 使いやすさ検証&研究活動
- (8) (1) データーベース再登録
- (9) (2) 自動運転車の乗車時不安評価研究
- (10) (3) 自動券売機の使いにくさとオペレータによる支援方法の研究
- (11) (4) システムキッチンを使いやすさ研究
- (12) (5) 高齢者と若年成人による協同問題解決の研究
- (13) (6) ビデオマニキュアのわかりやすさ研究(四季報第11号に詳細を掲載)

II みんなラボ活動の広がり

1. みんなラボと連携する活動の広がり

- (1) 静岡大学「静岡アクティブシニアラボ」
- (2) 島根大学地域連携センター「人間科学研究フォーラム」



III 2017年～2018年度人事異動

- (1) 秋田市「エイジフレンドリーシティ(高齢者にやさしい都市)」
- (2) みんなラボとの共同研究に基づく「使いやすい」デザインの広まり
- (3) 顔認証ゲート(自動出入国審査システム) 羽田国際線・成田で稼働中(四季報第12号に詳細を掲載)
- (4) キャップ式牛乳容器
- (5) 研究員：原田佑規 着任(2017年4月)
- (6) 研究員：水浪田鶴 着任(2017年4月)
- (7) 研究員：原田佑規 離任(2018年3月)
- (8) 原田研大学院生：池永将和 修士課程修了(2018年3月)
- (9) 研究員(RA)：田中伸之輔 着任(2018年4月)
- (10) (吉村)



四季報

が置いてあるところ

■市役所・官公庁

- つくば市役所・関係部署
- つくばみらい市役所
- 牛久市役所
- 土浦市役所
- 守谷市役所
- 取手市役所
- 龍ヶ崎市役所
- 阿見町役場

■筑波大学および病院関係

- 筑波大学
- 筑波大学附属病院
- 筑波メディカルセンター病院
- 筑波記念病院
- 筑波学園病院

■市・公共団体

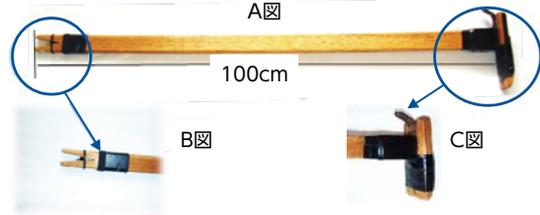
- つくば市社会福祉協議会
- つくば市シルバー人材センター
- つくば市民大学(みどりの風)
- つくば市民活動センター
- つくば市ふれあいサロン
- 阿見町中央公民館
- 阿見町本郷ふれあいセンター
- 阿見町君原公民館
- 阿見町かすみ公民館
- 阿見町舟島ふれあいセンター
- 牛久市社会福祉協議会
- 牛久市シルバー人材センター
- 牛久市エスカードビル
- 牛久市生涯学習センター
- 牛久市ボランティアセンター
- 牛久市中央図書館

おもしろデザイン発見記!

製作者からの紹介

これは自称ベリボー(便利棒:A図)と呼ばれるものです。私が必要に応じて「こんなものがあったら便利なのに」と興に任せながら、その都度、少しずつ工夫と改善を加え、作り出したものです。

用途はさまざまで、次のようなことに使えます。
①1mを測定する物差し、②工作する際の線引き、③三股として棒やハンガーを引っ掛ける(B図)、④布や小物をかき寄せる(C図)、⑤紐の先についたスイッチを挟んで引く(C図)、⑥室内用の杖、⑦護身用棒等。その他状況に合わせて多用途に使い分けられます。何気ないものですが孫との遊び用具にも使っています。



使ってみた感想

一見武骨な感じがしましたが手に取ると軽く、

(根岸)

握りやすい、便利棒を長年工夫して使い込んできた製作者の愛情が伝わってきました。使用する

と蛍光灯のひもが切れ込みへ吸いつくように挟まり、スイッチの切り替えが寝ていてもスムーズにできました。三股はブラウスなどの軽いものも、男物のスーツのように重いものまで、高いところへ楽に掛けることができます。ハンガーが入りこみすぎないように、先端3・5センチの所を結束バンドで止めてあり、強度も兼ね備えていると思いました。1メートルの棒は使い勝手の良い長さで、その先についている再利用したであろう(?)鉤の手の金具は、周りのものを簡単に引き寄せます。家で飼っている2匹の猫のドアの開け閉めなどに利用しました。他の機能も楽しく試し、まさに「便利棒=万能棒」です。

いろいろ便利なものが開発される世の中ですが、自身の生活に合わせて創意工夫することは素敵なことだと思えます。このような意欲を、高齢になっても持ち続けることで、認知症の予防にもなり、寝たきりの時間を短くし、豊かな生活を送ることができるように思います。

(石橋)

編集後記

四季報の発行も13号となりました。編集委員に新メンバーが見学にいらしたり、お試しで参加されたり、活動の広がりを見せています。今後も新メンバーを募集していますので、気軽にご参加ください。

今号では、みんラボ総会の内容を中心に報告しました。総会に参加できなかった方にも「みんラボの1年」を知っていただけたらという、報告をまとめました。ぜひご覧ください。また、年度の初めに行う桜会議、来年度も行う予定(ー)ですので、ぜひ足をお運びください。また、おもしろデザイン発見記の記事については、絶賛投稿募集中です。身の回りにある「面白いデザイン」についての情報がありましたら、是非編集委員会までお寄せください。

四季報12号でご報告した通り、四季報の読者アンケートを行って、今後の四季報への意見を募りました。アンケートで頂いたすべてのご意見を反映できるわけではありませんが、できる限り頂いた意見を反映させ、わかりやすく、読みやすい広報誌を目指していきたいと思えます。今後とも愛読、よろしくお願いたします。

(星)

編集者紹介

【みんラボ会員】

石橋、鶴川、篠原、東海林、田内、長門、沼尻、根岸、星、本田、柳井、吉村

【筑波大学大学院生】

田中、広瀬、王

【教員スタッフ】

原田、茂呂、葛岡、須藤

【みんラボ事務局】

浜崎、松村、水浪、(田中)

お問い合わせ

みんなの使いやすさラボ
第13号 10月1日発行

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟A408)
TEL : 029-879-7351 (受付)月~金9時~17時
FAX : 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp